

名阪近鉄バス株式会社

経験豊富な指導員が、しっかりサポートしてくれます。上手くいかない時など、アドバイスがあり、気軽に相談もできます。単独乗務1年後、フォローアップ研修を実施、冬季研修（雪道・チェーン装着等）、必要なスキルや知識を身につけていただきます。

・教習担当

業務部 指導教育課 令和6年4月1日現在

課長 勤続30年、指導歴15年

指導員A 勤続30年、指導歴4年

指導員B 勤続26年、指導歴10年

指導員C 勤続23年、指導歴9年

指導員D 勤続16年、指導歴2年

教習車両は、実際の現場で活躍しているバスと同じタイプの教習車で、研修を行っています

・教習車両

貸切車両1台（大型）



乗合車両2台（大型・中型）



名阪近鉄バスの教習計画は、養成運転士、初任運転者からベテラン運転士まで、個々の技量に合わせた研修プログラムにより実施しています。以下は、研修プログラムの内容です。

1. 事業用自動車を運転する心構え
 - ・バス運転者の社会的使命、また、事故を起こした場合の影響などを認識し、安全運行を心がけることは、模範となる運転者の使命である。
(社員就業規則・乗務員安全サービス規則・乗務員マニュアル)
2. 事業用自動車の運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべき基本事項
 - ・法令としては、「道路運送法」「旅客自動車運送事業運輸規則」等の遵守。
 - ・日常点検の実施・確認、業務前後の点呼を受ける等の規定の遵守。
(乗務員マニュアル)
3. 事業用自動車の構造上の特性
 - ・バスの特性に合わせた運転。(車高・車幅・車長・速度・死角等)
 - ・車両の大きさ、構造などが多様化するバス車両の特性に合わせた運転が必要。
(乗務員マニュアル)
4. 危険予測及び回避並びに緊急時における対処方法
 - ・「危険予測」様々な危険性を予測することが重要で、それを回避する運転をしていく必要性。
 - ・交通事故や路上故障が発生した場合は、「負傷者の救護・危険防止措置・乗客の安全確保・警察へ報告・営業所へ連絡等」即座に行動できるよう指導。
5. 運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
 - ・適正診断結果に基づき、運転者に自己の運転行動の特性を自覚させる。(初任：入社時、適齢：65歳以上2年毎、一般：三年毎、特定診断Ⅰ・Ⅱ：重大事故惹起者)
 - ・適性診断結果より運転者が安全な運転方法を自ら考えるよう指導
 - ・5段階の運転教習 1.基本走行 2.市街地走行 3.高速走行 4.山道走行 5.総合走行(実技マニュアル)
6. 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法の指導
 - ・事故に繋がる要因は何かを理解させ、運転にどのような影響を与えるのかを認識させる。
 - ・労働時間などの時間の改善基準の厳守。
(乗務員マニュアル)
7. 健康管理の重要性
 - ・疾病が交通事故の要因となること、健康診断受診の必要性、健康管理方法など
 - ・睡眠時無呼吸症候群、脳ドック、ストレスチェック等の受診の必要性。
(乗務員マニュアル)
8. 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法

- ・ 備える車両装置の動作確認。
- ・ 車両に搭載された運転支援装置の性能と注意事項を確認。
(乗務員マニュアル)

9. 乗車中の旅客の安全を確保するために留意する事項

- ・ 乗客が着座、シートベルト着用確認の重要性。
- ・ 乗客とのコミュニケーションから様々な場面での対応方法まで指導します。
(CS マニュアル)

10. 旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項

- ・ 乗客の乗降時における、停車・ドア開閉・乗客誘導・発車等を安全に行うための配慮すること。
- ・ 高齢者・障害者の乗降時の安全の確保。実技指導（リフトバス・車いす）
(乗務員マニュアル)

11. 運行する経路における道路及び交通状況を把握させ、留意すべき事項

- ・ 安全運行を行うため、運行経路・経路の道路情報を事前に把握する必要性。
(実技マニュアル)

12. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転の指導

- ・ 運転後にドライブレコーダーの映像を確認させ、業務手順沿った運転か・問題点・注意すべき点について指導。

13. ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等を社内で共有

- ・ 運転者からヒヤリ・ハットの申告を積極的に促し、関係する映像を確認、対応を考え、社内で共有。

14. 事業用自動車の添乗指導

- ・ 貸切・乗合、運転者が安全運転に必要な技量を身にけたことが確認できるまで指導後、配属所属長と確認。(卒業検定)

以上

教 習 計 画

教習生	氏名		指導員	乗務歴30年	指導歴4年	A
				乗務歴26年	指導歴10年	B
車種	貸切大型車 貸切中型車			乗務歴23年	指導歴9年	C
	乗合大型車 乗合中型車			乗務歴16年	指導歴2年	D

座学教習 10時間 以上	・ 事業用自動車の安全運転の基本
	・ 運行の安全及び旅客の安全確保
	・ 事業用自動車の構造上の特性と日常点検
	・ 危険の予測及び回避
	・ 緊急時、異常気象時の対処方法
	・ 人間の特性の理解（視野・交通心理）
	・ ドライブレコーダー映像を使った教習
	・ 適性診断結果に対する個人指導
	・ 市街地走行に対する注意点
	・ 高速道路走行に対する注意点
・ 狭路、山道走行に対する注意点	

実技訓練 20時間 以上	基本操作、走行訓練（金城ふ頭周回）
	市街地走行訓練（名古屋市内指定コース）
	郊外1車線、坂道（上り、下り）走行訓練（緑区周回コース）
	高速道路走行訓練
	狭路走行訓練（常滑市、師崎方面）
	山間路走行訓練（三ヶ根、妻籠、鈴鹿峠）
	夜間走行訓練（郡上八幡方面）
	梯団走行訓練（天理、妻籠）
イオンシャトル中型車両走行訓練	

実技研修の時間は技量により延長します

名阪近鉄バス株式会社 業務部指導教育課

教 習 内 容

教習生

行 程		項 目	日付	修了担当⑥	
卓 上 研 修	1日目 (8時間)	・入社する際の書類の作成、写真、制服採寸	/		
		・教習の概ねの予定、休日について、指導教育課の電話番号	/		
		・トイレ、喫煙所、昼食(弁当)について	/		
		・乗務員マニュアル（就業規則・服務規律・事業用自動車の安全運転の基本）	/		
	2日目 (8時間)	・貸与品を渡す ・乗務員台帳作成（免許証・個人指導記録簿・その他）	/		
		・乗務員マニュアル（構造上の特性と日常点検・緊急時における対処方法）	/		
		・出勤からの流れ(点呼簿・出勤簿) 実践兼ねて	/		
		・名(営)設置のアルコール検知器の使用方法和、アルコール検査確認について	/		
		・CSマニュアル(前半)について（接客・身だしなみ・その他）	/		
		・アルコールについて（飲酒運転防止のための留意点）	/		
	3日目 (8時間)	・運行前点検について（運行前点検点検手順・点検表作成）	/		
		・運行前指示書 ・ぬくもり運転申告書について（確認事項・記入方法）	/		
・デジタルタコグラフの入力方法について		/			
・非常扉の開閉方法・エンジンオイル・冷却水補充の仕方について		/			
・Jバスの特長について（アドブルー、DPR計器及び装置確認）		/			
時 期	内 容	項 目	日付	修了担当⑥	
運 転 教 習	1 段 階	車庫内 (3時間～)	・運行前点検を確実に実施（点検項目・手順・オーディオDVD装置取扱い）について	/	
			・安全確認呼称の必要性について 【実技マニュアル参照】	/	
			・車両感覚について（オーバーハング・内輪差・後退手順、誘導）	/	
	基本走行 (8時間～)	・始業点呼について（運行前点検・ぬくもり申告書提出・運行指示書の復唱）	/		
		・仕業中の点検（仕業中の点検・点検表の作成）、輪止の使用法について	/		
		・終業点呼について（異常有無の報告事項）	/		
		・運行立替報告書の記入事項について、安全運転日報の解析について	/		
	卓上研修 (5時間)	・適性診断結果に基づく個人指導の実施	/		
		・ ドライブレコーダー の記録にて分析した安全運転について	/		
	2 段 階	市街地走行 (10時間 ～)	・市街地にての注意点の説明 【実技マニュアル参照】	/	
危険予知について（狭い路地・駐車場から本線に進入する車両に対する確認）			/		
走行試験 (1時間～)		・市街地(大高)走行試験（試験項目 運行前点検 ・走行試験 ・非常扉開閉）	/		
卓上研修 (8時間)		・ KYT （危険予知トレーニング）についての指導	/		
		・車両故障等の緊急時における安全確保について	/		